

議案第86号

令和4年度宝塚市一般会計補正予算（第4号）

資料1(17)(18) 学校給食費における物価高騰によって生じる保護者等への負担軽減について

1 概要

本年3月以降、世界的な社会情勢の変動から急激な物価高騰が続き、給食用物資の調達にも影響が出ています。2学期以降（令和4年9月～令和5年3月）の給食用物資の調達において、国の交付金を活用し、市が物価高騰分を負担することで、これまでの学校給食の質を維持するとともに、給食費上昇による急激な保護者負担の増加を避けるものです。

2 予算要求額

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）】

	対象者	対象人数 ※1 (①)	給食実施回数 ※2 (②)	喫食数 (③=①×②)	物価高騰分 (市負担額) ※3 (④)	歳入額 (③×④)
小学校	1～6年生	11,789人	124回	1,461,836	25円	36,545,900円
中学校	1年生	1,718人	125回	214,750	30円	6,442,500円
	2年生	1,737人	125回	217,125	30円	6,513,750円
	3年生	1,718人	115回	197,570	30円	5,927,100円
	小計	5,173人		629,445		18,883,350円
養護学校	児童・生徒	31人	124回	3,844	25円	96,100円
合計		16,993人		2,095,125		55,525,350円

【学校給食実費徴収金 現年度分】※4

	対象者	対象人数 ※1 (①)	給食実施回数 ※2 (②)	喫食数 (③=①×②)	物価高騰分 ※3 (④)	歳入額 (③×④)
小学校	教職員	967人	124回	119,908	25円	2,997,700円
中学校	教職員	486人	125回	60,750	30円	1,822,500円
養護学校	教職員	61人	124回	7,564	25円	189,100円
合計		1,514人		188,222		5,009,300円

※1 令和4年5月1日時点の人数

※2 9月から翌年3月までの実施回数

※3 帝国データバンクの価格改定動向調査（4月時点）で、価格改定率が平均11%とあり、小学校・養護学校（230円）、中学校（270円）の学校給食費単価それぞれに価格改定率を乗じ、25円と30円を算出（小数点第1位以下を四捨五入）。

※4 当該交付金は、子育て世帯に対する支援のため、教職員分については、物価高騰分を加算して請求を行う。

3 2学期以降の児童生徒一人当たりの軽減額（給食実施回数×市負担額）

	対象者	軽減額
小学校	1～6年生	3,100円
中学校	1年生	3,750円
	2年生	3,750円
	3年生	3,450円
養護学校	児童・生徒	3,100円